

ついに実現するFTTH

7月27日、株式会社ユーズコミュニケーションズは、2001年4月から光ファイバーを使ったインターネット接続サービスを開始すると発表した。同社の親会社は株式会社有線ブロードネットワークスで、旧社名は大阪有線放送社。つまり「USEN440」を手がけている有線放送の最大手企業だ。

有線ブロードネットワークスは、全国に22万kmに及ぶ独自の有線放送用の同軸ケーブルを張り巡らせている。しかし、今回のサービスではあえて既存のケーブルではなく、新規に光ファイバーを敷設する。それも、可能な限り各家庭に直接光ファイバーを配線するというのだ。これまで「夢の」とか「未来の」などと形容されてきたFTTHを、今年の10月に試験サービス開始、来年の4月からは本サービスとして提供するというから、そのスピードにも驚かされる。

一般家庭まで光ファイバーを引き込む、FTTHが正式サービスとして提供されるのは、日本ではもちろん、おそらく世界でも初のことだ。同社のサービスが順調に開始されれば、貧弱な日本のアクセス環境が一変する可能性すら出てきたと言えるだろう。

来年4月から正式サービス開始

10月から開始される試験サービスは、世田谷区の一部（赤堤と松原）が対象地域となる。当初は50世帯程度からテストを開始し、年内には500世帯程度までモニターを増やしていくとともに、対象地域も世田谷区内に拡大していくということだ。ここでサービス開始に向けてのあらゆるテストを行い、2001年4月からは世田谷区内で正式にサービスを開始する。サービスエリアは2001年10月には杉並区、渋谷区、目黒区、大田区、2002年には東京23区内全域へ拡大していく予定となっているが、状況によっては開始が早まることもありえるということなので、対象地域の人は期待していいだろう。

サービスの価格は現在のところ公表されていないが、CATVやADSLといったほかのブロードバンドサービスと遜色のない価格帯にしていきたいとしていることから、月額5,000円程度ではないかと予想される。



もはや「夢の」ネットワークではない!

ユーズコミュニケーションが開始する

FTTH

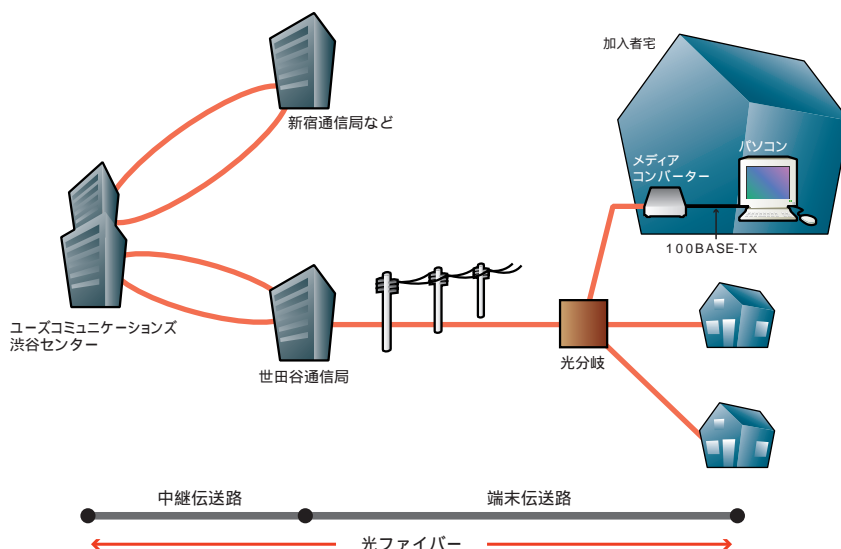
(ファイバー・トゥー・ザ・ホーム)

株式会社ユーズコミュニケーションズは10月から、東京都の世田谷区で光ファイバーを使ったインターネット接続の試験サービスを開始する。ついに始まるブロードバンドサービスの大本命、光ファイバーによるアクセスサービスの概要をレポートしてみる。

ユーズコミュニケーションズのサービス概要

初期費用	未定
月額料金	5,000円前後
通信速度	10Mbps
アクセスライン	光ファイバーを各戸に直接配線 (集合住宅ではDSLやHomePNAなどを検討中)
提供地域	2000年10月 世田谷区の一部地域(赤堤、松原の一部) 2001年4月 世田谷区 2001年10月 杉並区、渋谷区、目黒区、大田区 2002年 東京23区内全域 以降、順次拡大予定

ユーズコミュニケーションズのネットワーク構成



センターから各家庭まで、すべて光ファイバーによる真のFTTHネットワークとなる。

[Interview] 日本一の有線放送から世界初のFTTHサービスへ

試験サービスの開始は発表されたものの、サービスの詳細については現在のところまだ公表されていない。そこで、具体的なサービス内容とサービス開始の経緯について、ユーズコミュニケーションズの藤本取締役質問してみた。

編集部：すでに全国にネットワークを持つ同軸ケーブルではなく、新たに光ファイバーを引いてサービスをするというのは、どのようなねらいがあるのでしょうか。

藤本：CATVインターネットのように既存の配線を利用する方法も検討しましたが、こうした配線は最終的には光ファイバーに置きかわっていくと考えたわけです。同軸ケーブル用のモデムなどを新規に導入するのに比べても費用はかからないのではないかと計算もあり、だったら一気に光ファイバーを張ってしまおうという結論に達したわけです。

編集部：料金と速度はどの程度のサービスを想定しているのでしょうか。

藤本：具体的な料金については現在のところは公表できませんが、CATVやADSLといった先行業者よりは安くしていきたいと考えています。速度については10Mbpsを予定していますが、可能であれば100Mbpsのサービスも実施したいと考えています。

編集部：光ファイバーにも関わらず、低価格でサービスができるのはなぜでしょうか。

藤本：ネットワークをTCP/IPに特化した形で構築することで、コストを大幅に引き下げるためです。具体的なネットワーク構成については検討中ですが、十分採算に見合った形でサービスを提供できると考えています。

編集部：サービスは、有線放送と同時に申し込まなくてはいけないのでしょうか。

藤本：ネットワーク接続と有線放送はまったく別のサービスですので、ネットワークサービスだけの申し込みもできます。また、現在有線放送を利用中の場合でも、新たに光ファイバーを敷設することになります。

編集部：光ファイバーを直接配線するというのですが、集合住宅の場合でも利用可能なのでしょうか。

藤本：残念ながら、集合住宅の場合には直接配線できない場合が考えられます。当社としては直接配線にはこだわりたいのですが、直接配線が不可能であれば、住宅内はxDSLやHomePNAを用いるといった、あらゆる方法で対処していきたいと考えています。

編集部：ブロードバンドに向けたコンテンツなどは用意されるのでしょうか。

藤本：10月の試験サービス開始と同時に、各社と共同でコンテンツ配信も行っていく予定です。現段階でもすでに、スクウェア、FM東京、ギャガ・コミュニケーションズ、エイベックス、小学館といった、いずれも強力なコンテンツを持っている企業にご協力いただくことが決まっています。こうしたサービスは、これまで有線放送というネットワーク（ケーブル）とコンテンツ（音楽）の両方を同時に提供してきた、まさに当社の得意分野であると考えています。

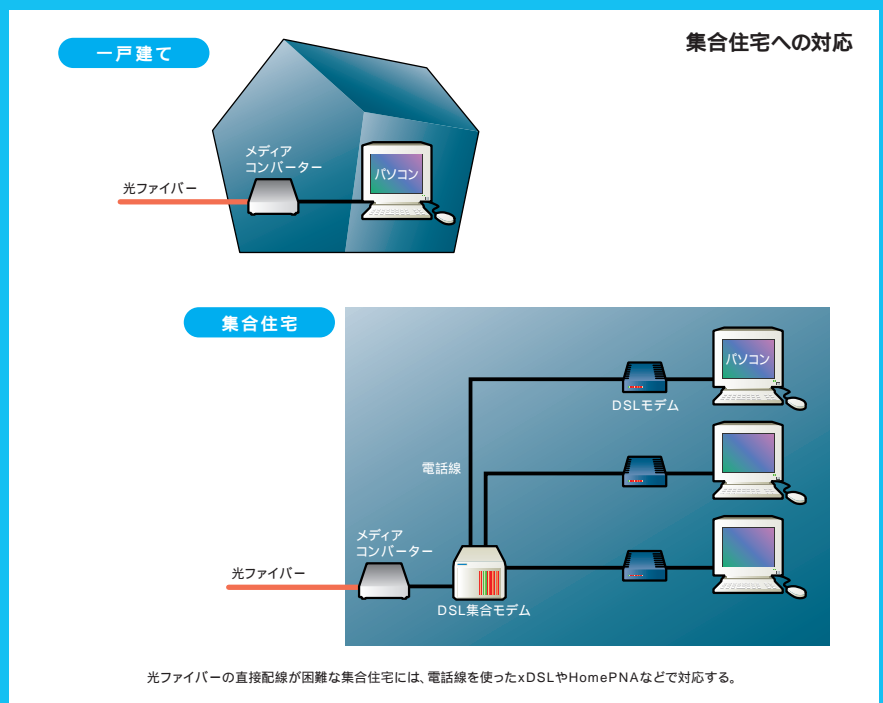
編集部：ありがとうございました。



藤本篤志
株式会社ユーズコミュニケーションズ取締役



サービスに使用される予定のメディアコンバーター。光ファイバーを100BASE-TXに変換する装置で、大きさはだいたい15cm四方。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp